

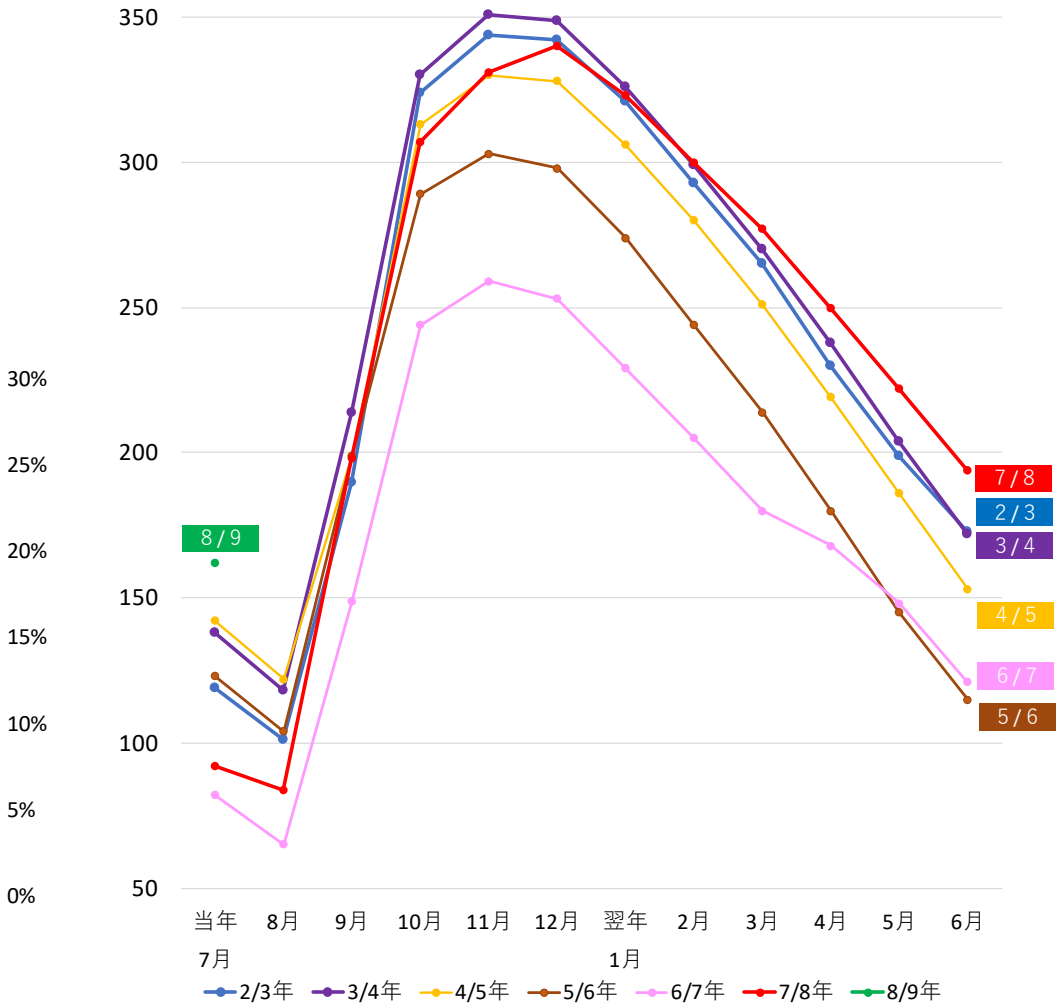
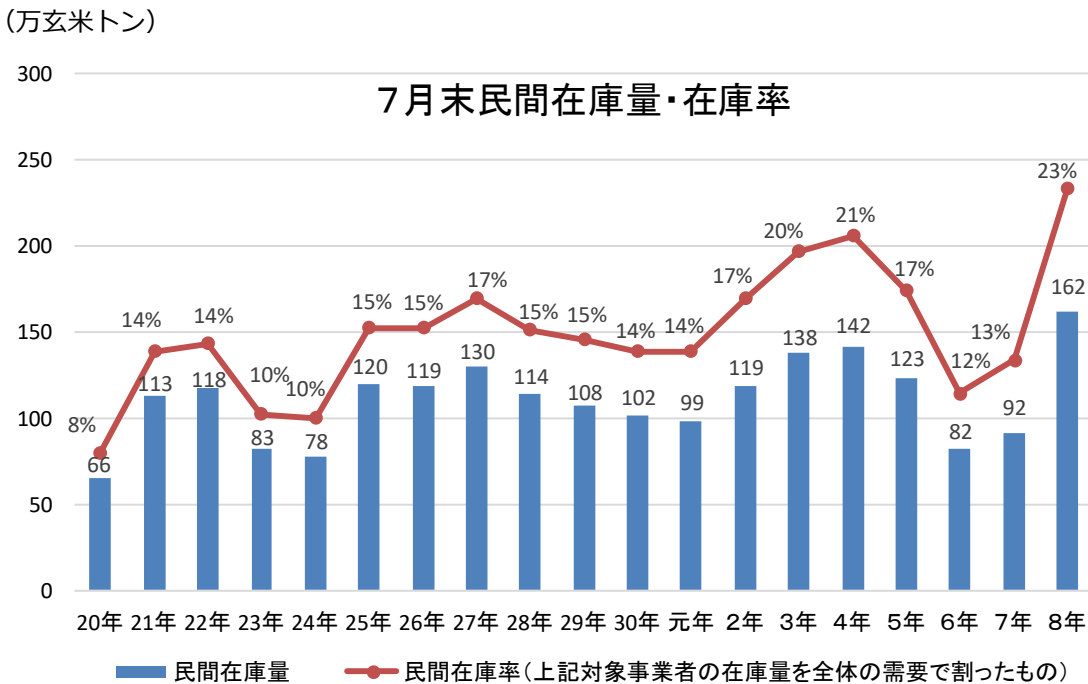
令和8年7月末民間在庫量のポイント

- 令和8年7月末の民間在庫量は対前年同月+70万玄米トンの162万玄米トンと、最も高い在庫水準。
- 段階別にみると、出荷段階は117万玄米トン、販売段階は45万玄米トンであり、販売段階の在庫量は例年の同時期（20～30万トン程度）に比べ高い水準で推移。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）
(万玄米トン)

	出荷段階	販売段階	合計
7年7月末	60	32	92
前年差	+2	+8	+10
8年7月末	117	45	162
前年差	+57	+13	+70

○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）
(万玄米トン)



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等を対象。
※令和8年の在庫率は、8/9年の需要見通し（693～711万玄米トン）により算出。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

(単位：万玄米トン)

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500玄米ト以上	年間取扱 4,000玄米ト 以上	年間取扱 500～ 4,000玄米ト ン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6 月末在庫 194万トン ➡ 7 月末在庫 162万トン (対前年+70万トン) 【出荷段階】 6 月末 142万トン ↓ 7 月末 117万トン (対前年+57万トン) 【販売段階】 6 月末 51万トン ↓ 5 月末 45万トン (対前年+13万トン)			
もち米				

243万トン
(※ 6 月末のみ調査)

※毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の出荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。
およそ民間の流通在庫全体の80%（194万トン）をカバー。